

十和田市 議会だより

No.81
12月定例会号

一般質問 (P3～9)



医療的ケア児の通学支援



GIGAスクール構想の効果



保育士を目指す方への支援



令和7年度予算編成方針



小山田市政の総括



中央病院の医師確保



上下水道の耐震化



セーフコミュニティ推進条例



高森山パークゴルフ場の芝



投票所までの移動支援



高齢者への補聴器購入費助成



(仮称)惣辺奥瀬風力発電事業



認知症の方の介護者への支援

目次

議案審議の状況等	P2
本会議・各委員会出欠状況	P9
市議会・市民との意見交換会等	P10

アーツ・トワダ ウインター
イルミネーション2024

(2月16日(日) 21時まで)

議案審議の状況

12月定例会

令和6年第4回定例会は、11月25日から12月13日まで19日間の会期で開かれました。刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定など、議案33件（発議2件を含む）、報告3件が上程され、いずれも原案のとおり可決されました。

十和田市災害弔慰金等 支給審査委員会の設置 **可決**

災害弔慰金及び災害障害見舞金の支給に当たり、自然災害との因果関係等を調査審議する『十和田市災害弔慰金等支給審査委員会』の設置に関する条例が可決されました。



中央病院の病床数を削減 **可決**

病院経営の健全化を図るため、令和7年1月1日から、中央病院の一般病床数を削減します。

◆一般病床数 315床 → 269床
(46床削減)



改築後の相撲場使用料を改定 **可決**

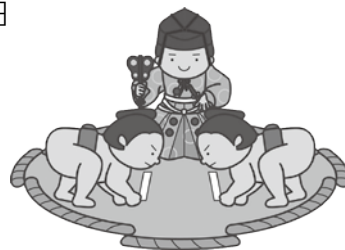
上屋改築後の相撲場の供用開始に伴い、使用料を改定します。

◆改定後の使用料

使用区分	入場料の徴収	金額 (1時間)
アマチュアスポーツに使用	なし	650円
	あり	1,950円
催物に使用	なし	3,250円
	あり	6,500円
興行又はこれに類するものに使用		19,500円

◆施行日

令和7年4月1日



賛否が分かれた議案等の審議結果

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「退」は退出、「―」は議長（原則、表決に加わりません。）
「除」は除斥（審議案件と一定の利害関係を有するため、審議に参加することができない者）

議案番号	議員名 (議席順)	山端	小山田	太田	竹島	笹島	山田	今泉	中嶋	中尾	小笠原	山端	櫻田	氣田	斉藤	久慈	江渡	堰野	工藤	小川	豊川	戸来	石橋	審議結果
議案名		美樹子	剛士	正幸	直樹	峰尚	洋子	信明	秀一	利香	良子	博	百合子	量美	重和	年貴	信雄	展正	廣平	洋平	泰市	伝	義雄	
議案第77号	奥入瀬渓流温泉スキー場管理棟建築工事請負契約の一部変更契約の締結について	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	×	―	可決



山端 美樹子
(自民公明クラブ)

医療的ケア児へ通学支援を

県に対し要望を継続する

問 今年度の医療的ケア児支援の進捗状況は。

答 会議において、上十三地域内の現況等の情報共有や事例検討を実施したほか、希望する全ての児童ヘコディネーターを配置しています。また、今後上十三地域医療的ケア児支援シンポジウムを開催予定です。

問 県は、令和7年度は医療的ケア児の通学支援を行わない考えのようだが、市の見解は。

答 通学支援は喫緊の課題であり、特別支援学校設置者である県へ引き続き要望していきます。

問 認知症予防の取組状況は。

答 家庭訪問等を通じて、集いの場や各種講座等の情報を提供することで社会参加を促しています。また、いきいき体操等の高齢者が集まる機会を捉え、知識の普及啓発に努めています。

問 認知症介護者への支援体制は。

答 活用できるサービス等をまとめた「十和田市認知症ケアパス」を作成し、相談対応時に配布しているほか、医療機関や公共施設等に設置し、手に取りやすい環境づくりに努めています。

問 介護マークの普及に対する市の考えは。

答 今後、有用性を検討していきます。

問 認知症の正しい理解促進に向けた取組は。

答 認知症高齢者等徘徊対応模擬訓練や認知症サポーター養成講座、認知症多職種協働研修会を開催し、正しい理解に向け取り組んでいます。

問 家族の連絡先や受診、服薬情報を専用容器に入れて冷蔵庫内に保管することで、緊急搬送時の迅速な対応につながる救急医療情報キットの配布対象年齢を65歳以上に見直す考えは。

答 原則70歳以上ですが、日中一人になってしまふ方や疾病があり不安を抱えている方などは、年齢に関わらず、相談に応じて配布しています。



小山田 剛 士
(黎明親和会)

中央病院における 医師確保の状況は

過去10年で最も多く、 一定の成果が出ている

問 中央病院経営強化プランによる医師確保の状況は。

答 常勤医師は、12月1日時点で52人と過去10年で最も多く、令和7年4月にはさらに初期研修医2名、専攻医3名が増える見込みで、一定の成果が出ています。一方、急性期病院としての医療をより充実させるためには、救急や手術に関する診療科の医師確保が課題となっており、関連大学や県等への働きかけ、大学との講座開設等を通じ、積極的に医師確保に努めています。

問 プランにおいて、中央病院の果たすべき役割として総合的かつ専門的な急性期医療の提供が掲げられているが、どのレベルを目指しているのか。

答 まずは、生活圏を重視した上十三二次医療圏の中での救急医療、がん医療を中心とした急性期医療にしっかり対応することを考えています。より広域での高度急性期医療が必要な場合については、八戸市民病院等との連携が必要であると認識しています。

問 八戸市民病院では、経営面での赤字決算を回避するため、医療経営戦略室を立ち上げ、会議の場で診療科ごとの収支を報告し、どの程度の利益が出ているか公表することにより、職員一人一人にコスト意識が芽生え、病院全体の経営改善につながっていると聞く。中央病院にもこのような部署を設けてはどうか。

答 診療科ごとの収益額や病院全体の費用及び収支、収益改善策等は、事業管理者、院長、診療部長等で構成する中央病院運営会議において毎月報告、協議しています。診療科ごとの費用及び収支の分析についても始めるところであり、まずは現在の体制で包括的な経営分析等を行い、必要に応じて、設置について検討します。



中 嶋 秀 一
(自民公明クラブ)

投票所までの移動困難者に タクシー料金等の補助を

他市の事例を参考に検討する

問 投票所への移動が困難な方に対し、介護タクシー等の料金を補助する考えは。

答 対象者の範囲をどうするかなどの検討課題があることから、今後の人口減少を見据えた中での投票区の再編、投票所の統合も視野に入れ、他市の事例を参考に検討していく必要があると考えています。

問 高齢者の入浴料金の一部を助成する考えは。

答 市民の家において、満60歳以上の市民の方を対象に、大人一人当たり310円の料金を100円安い210円とし、間接的に助成しています。

問 車のない高齢者は焼山地区まで行くのが難しいため、市内の公衆浴場と提携しては。

答 高齢者の閉じ籠もり予防や生きがいづくりなど、介護予防につながるものと思いますが、助成に係る経費や関係団体との調整など課題があることから、助成の考えはありません。

問 市では、特定空家等の物件に対し勧告を出していないようだが、その理由は。

答 市で認定した特定空家等は、直ちに倒壊する恐れはなく、第三者に危害を及ぼす可能性が低いと判断し、指導にとどめています。

問 相続人がいない場合や、相続放棄をした場合など、相続人不存在で相続財産法人となった空き家は市内に何件あるのか。

答 11月末現在で47件あると把握しています。

問 相続人不存在の物件に対し、今後解体や更地へと具体的に進める計画はあるか。

答 立地条件や第三者への影響があるかどうかを考慮しながら、市が相続財産清算人の選任請求をすべきかどうかも含め、今後空家等対策庁内検討委員会等で検討していきます。



笹 淵 峰 尚
(黎明親和会)

GIGAスクール構想の効果は

自ら考える学習形態が 進み、効果が上がっている

問 GIGAスクール構想により、1人1台学習用タブレットが配備され、学校内の無線LANやICT環境が整えられるなど、質の高い学びの環境になったと思うが、その効果は。

答 学級全員の考えを共有ソフトで可視化することで、瞬時に多様な考えに触れることができ、自身の考えを再検討することが容易になり、一方的に教わるだけではなく自ら考える学習形態が進み、効果が上がっていると考えています。

問 子供の学習意欲向上等のため、端末を使って海外校との交流や意見交換を行ってはどうか。

答 希望する学校があった場合は、ICT支援員や外国語指導助手を派遣して交流を支援するなど、協力していきます。

問 少子化や未婚化、独身率が高まる現代、若い女性が就職等で地元から離れることが婚姻減の一因と考えるが、就業機会を創出する施策は。

答 再就職や就業継続のため、女性の活躍支援セミナーを実施し、就業意欲の向上やスキルアップに役立てていただいています。

問 特に人口減少が進む地域における約10年後の推計人口と高齢化率は。

答 令和17年までに十和田湖小学区が45%減少し125人（高齢化率55.2%）、四和小学区が39%減少し681人（同59.5%）、沢田小学区が34%減少し838人（同56.2%）と推計されます。

問 子供の遊び場確保のため、JCキッズパークwith松陽に対し支援する考えは。

答 地域で自主的に活動が展開されることは望ましい姿であると捉えており、十和田青年会議所や地元からの意見を伺いながら、支援策について検討していきたいと考えています。



竹 島 直 樹
(柊の会)

上下水道の耐震化の状況は

管路更新により耐震化を図る

問 避難所や災害拠点病院などの水道管路と下水道管路、ポンプ場の耐震化の状況は。

答 市の重要施設に接続する耐震化率は、水道管路89%、下水道管路6%、下水道ポンプ場100%です。耐震化率の低い下水道管路は、今後更新時期を迎える管路の更新により耐震化を図るとともに、被災時は市保有の仮設ポンプ等の資機材を使用した対応や協力会社による汚水運搬処理等を定めた下水道事業業務継続計画により、下水道機能を維持していきます。

問 旧十和田市立新渡戸記念館譲与後の館内資料の所有権確認作業の進捗状況は。

答 10月15日に改めて確認作業の申入れを行いました。新渡戸氏からは、市との所有権確定作業は終了したとの認識で、所有権の根拠として占有権を主張する回答がありました。新渡戸氏に対し、市の考えにご理解いただくよう引き続き申入れを行うとともに、今後弁護士と協議し、法的な措置も検討したいと考えています。

問 令和6年5月1日、2日の国立印刷局東京工場視察と環境省表敬訪問が市ホームページの市長の日程に載っていないのはなぜか。

答 市長の公務日程は、行事の主催者側で報道機関に公開していること、取材対応が可能なことなどを踏まえ、公表可能かを判断する運用をしていました。当該行事は、視察及び表敬訪問に際し事前登録が必要で、取材対応が可能な行事ではないと判断し非掲載としました。しかし、透明性の高い公正な市政運営のためには基本的な取扱いを明確にして運用すべきとし、他市の状況も調査しながら取扱方針を整え、10月1日以降の行事等から新たに運用しています。



小笠原 良 子
(日本共産党)

高齢者の補聴器購入費助成を

上北圏域と連携し

国・県へ要望を継続する

問 高齢者の補聴器購入費を助成する考えは。

答 地域格差なく支援を受けられることが望ましいと考えているため、上北圏域と連携し、国、県へ助成制度の創設を要望しています。市独自で助成する考えはありませんが、引き続き、国や県に要望していきます。

問 高齢者への無料聴力検査制度を創設しては。

答 聞こえに関心を持ち、聞こえにくさに気付くためのセルフチェックの必要性を市広報や集いの場などで周知したいと考えているため、新たな検査制度の創設は考えていません。

問 既存の公共施設は、「音が響いて聞き取れない」との声があるが、改善する考えはあるか。

答 現在、音響環境に関する具体的な苦情や要望は届いていないため、改善予定はありません。

問 音楽活動を支援するため、閉校した学校等を活用し、音楽施設にしてはどうか。

答 既にミニコンサートなどが実施可能な場所が複数あるため、新たな施設は考えていません。

問 近年指摘されている奥入瀬溪流の流れの変化について、現状を把握しているか。

答 降雨量や倒木等、多様な要因が想定され、自然現象の範囲内の事象と理解しています。

問 市が行っている環境調査の目的と現状は。

答 今年度から、「十和田湖および奥入瀬溪流」の保存活用の課題を明らかにすることを目的に下層植生の踏み荒らし状況調査と、奥入瀬溪流の土砂堆積状況調査を実施しています。市では、この結果に基づき、県や関係機関と連携し保全に努めるとともに、令和9年度に策定を予定している新たな保存活用計画が、今後の適切かつ有益な指針となるよう取り組んでいきます。



中 尾 利 香
(自民公明クラブ)

保育士を目指す方へ支援を

活用できる制度の周知に努める

問 保育士を目指す方への支援として、市内の保育施設に何年か勤めた場合に返還が免除されるような、修学資金貸付事業を行う考えは。

答 県社会福祉協議会において、一定の条件を満たした場合に返還が免除される保育士修学資金等貸付事業を行っており、希望する方が制度を活用できるよう周知に努めます。

問 奥入瀬渓流の渋滞対策の状況と課題は。

答 5月、10月の特に渋滞が予想される土日に、市、環境省等で組織する十和田湖周辺交通渋滞対策協議会の職員を配置し、渋滞緩和に努めています。一定の効果は見られますが、抜本的な解決には奥入瀬バイパスの早期完成が必要と考えており、引き続き国に要望していきます。

問 幼稚園、保育園でのフッ化物洗口の実施状況と市の見解は。

答 子供の頃からの虫歯予防は、大人になってからも豊かな人生を送るために大切な取組です。今年度は、市内26施設において保護者の同意を得た園児に対し、週1回フッ化物洗口を実施しており、今後も関係機関と連携、協力し、保護者への意識づけを図りながら、取組を進めます。

問 支援が必要な子供の保護者は、入学前の早い段階から学校の情報を知りたいと思うが、進学に向けた情報をどのように提供しているのか。

答 実態を把握している学級担任や特別支援コーディネーターが相談に対応しているほか、教育委員会でも必要に応じて進学に向けた情報提供を行っています。また、学校での支援内容や転入学等の相談先等を記載したパンフレットを作成し、市ホームページに掲載しています。



氣 田 量 子
(自民公明クラブ)

セーフコミュニティ 推進条例の制定を

必要性について検討する

問 令和6年11月に4回目の国際認証を取得した当市のセーフコミュニティの取組を次世代に受け継ぎ、さらに発展させるため、セーフコミュニティ推進条例を制定する考えは。

答 助け合いの精神によるまちづくりの実現を目的とした安全で安心なまちづくり条例は同様の理念であると考えており、現行条例の改正や新たな条例制定の必要性について検討します。

問 市民にはセーフコミュニティ活動が十分に認知されていないと感じるが、改善策は。

答 今年度、普及啓発を目的にイベントを開催し、多くの方が関心を寄せていました。今後も同様のイベントを開催し、周知に努めます。

問 爪や衣類に貼るだけで利用できるQRコードシールを用いた身元確認支援サービスは、視認性が高く、GPS端末を持ち歩けない方にも対応可能で、認知症高齢者の早期発見や家族の不安軽減が期待されるが、導入の考えは。

答 課題等を整理し、導入の有用性について検討したいと考えています。

問 人種、性別、障害の有無などの違いを尊重し、多様なバックグラウンドを持つ人々が安心して暮らせる環境を整備するダイバーシティ（多様性）の推進は、地域の課題解決や新たな発展、住民全体の幸福度向上につながると考える。アンケートで市民の意見を聞く考えは。

答 来年度、第2次十和田市総合計画の次期計画策定に向けた市民アンケートを実施する際、ダイバーシティ推進の視点も取り入れます。

問 外国人住民への支援状況は。

答 市防災マップを4か国語に翻訳し、市ホームページへ公開したほか、生活関連情報ページの翻訳言語にベトナム語を追加しました。



今 泉 信 明
(立憲農民クラブ)

クマタカ生態報道への見解は

未来世代へ引き継ぐ 重要な財産と認識

問 (仮称)惣辺奥瀬風力発電事業の建設予定地付近で観測されたクマタカの生態報道に対する市の見解は。

答 クマタカをはじめとする動植物や自然環境、景観などは、未来世代へ引き継がなければならない重要な財産であると認識しています。本事業は市営放牧場と保安林に計画されていますが、市営放牧場は今後も放牧用途に使用予定であり、保安林は、県ゾーニング案では原則的に事業実施が認められない保全地域に該当します。自然環境等への影響を懸念する声が大い中、事業実施にはハードルが高いと考えますが、環境影響への配慮を含めた事業計画は、まずもって事業者が検討することであると認識しています。

問 建設予定地付近のクマタカの生息数を把握しているか。

答 活動域であることは把握していますが、生息数は把握していません。

問 全国でも1,800羽余りとされる貴重なクマタカを保護観察できる公園を設けて、観光資源として活用する考えは。

答 惣辺放牧場には既に牧場広場展望台やあずまやがあり、誰でも自由に利用するため、新たな公園の設置は考えていません。

問 令和6年9月に開催予定だった本事業に係る第4回中間報告会は、事業者の事情で開催延期となったようだが、その周知を市ホームページに掲載した理由は。

答 風力発電事業は特に市民の関心が高く、事業者が独自に開催する報告会などの開催情報も依頼により市ホームページや広報に掲載しています。本報告会の開催についても市ホームページ等に掲載していたことから、延期の連絡を受け、速やかにお知らせしたものです。



太 田 正 幸
(立憲農民クラブ)

令和7年度の予算編成方針は

5つのプロジェクトを 重点的に取り組む

問 令和7年度の予算編成方針は。

答 限られた財源の中で、適切かつ効果的な事業実施に必要な予算とすることを基本に、第2次総合計画後期基本計画で掲げた5つの重点プロジェクトについて重点的に取り組む予定です。

問 103万円の壁が撤廃された場合の影響額は。

答 個人住民税の減収額は10億円程度で、令和5年度の市税全体の約14%の減収見込みです。

問 ガソリン税を一部軽減するトリガー条項の凍結が解除された場合の歳入への影響額は。

答 約1,200万円減額となる見込みです。

問 通報者が不利益を受けることなく、安心して通報できる環境を整えるため、市独自の公益通報者保護制度を構築する考えは。

答 国の指針等では、内部規程を定め運用することが求められていることを踏まえ、今年度中の整備に向けて取組を進めたいと考えています。

問 脱炭素への取組を明確にし、具体的な行動を促進するため「デコ活」宣言をする考えは。

答 今年度、市全域の温室効果ガスを削減するための十和田市地球温暖化対策実行計画を策定する中で、一緒に検討したいと考えています。

問 今年度の秋まつりの総括会議の内容は。

答 トイレの増設やごみ対策、十和田囃子競演会の再開についてや夜間運行における照明設置についてなど、多岐にわたり議論されました。

問 秋まつりを継承、発展させるため、市の姿勢を条例化するなど、明文化してはどうか。

答 多くの市民が参加できる環境づくりには、市民の主体的な取組を促し、支援することが重要と考えているため、明文化は考えていません。



久慈年和
(立憲農民クラブ)

高森山パークゴルフ場の 芝の改良計画は

早期回復を促す対策を講じる

問 近年、高森山パークゴルフ場の芝の状態が良くないと聞くと、状況を把握しているか。

答 夏の暑い期間に特定のコースで一部芝の枯れが見られましたが、活性剤の注入や芝の種をまく量を増やすなどの対策を講じることで、秋には芝の状況が徐々に回復しています。

問 芝が枯れる原因は。

答 指定管理者からは、夏季の高温と乾燥が一番の原因であり、特に強い日差しが続くと芝の生育に必要な水分を得ることが困難になるとの報告を受けています。また、ゴルフ場全体が粘土質の土壌であり、水はけが悪い箇所は根腐れが起こり、芝が枯れる一因とされています。

問 芝の改良計画はあるか。

答 水はけに優れたきめ細やかな目土の補充等の維持管理の徹底に加え、来年度からは、芝の状態が悪化する兆候が見られる場合は、当該コースの利用を一時休止し養生期間を設けるなど、早期回復を促す対策を講じたいと考えています。また、現在の気候に適した品種についても併せて検討していきます。

問 暑い時期の芝の管理に向け、スプリンクラーなどの散水できる設備を設置する考えは。

答 芝の維持管理に有効な対策の一つと考えていますが、設置には新たな水道設備の整備が必要などの課題もあることから、当該環境下に有効な維持管理方法について検討していきます。

問 市民図書館の購入図書の選定方法は。

答 図書館職員で構成する図書選択委員会が、各分野の概論などの基本図書、小説などの一般図書、百科事典などの参考図書、郷土資料のほか、蔵書が理想的な構成となるよう市民図書館資料取扱要綱に沿って選定、購入しています。



山田洋子
(柊の会)

認知症の方の介護者への支援は

気軽に相談・情報交換 できる場を周知

問 認知症の方の介護者にとって、同じ境遇の方と話をすることが一番のストレス解消と聞くと、介護者同士をつなぐような支援はあるか。

答 認知症の本人や家族が気軽に参加し、相談や情報交換ができる「認知症カフェ」や「認知症の人を抱える家族のつどい」があり、認知症の相談に訪れた方に紹介しているほか、市広報で開催日時等を周知しています。また、初めての参加に不安を感じる方には、地域包括支援センターなどが同行し支援を行い、介護者の精神的負担の軽減につながっていると考えています。

問 介護人材の確保に向けた取組は。

答 国が中心となり、介護分野の魅力ある職場づくりのための施策や、人材の能力開発、向上のための施策などを進めており、当市においては、県の委託事業である介護分野の人材確保のための講習会の開催周知などを行っています。

問 市民後見人養成講座は、社会貢献に意欲のある方が市民後見人として活動できるよう、知識や技術等を習得するためのものだが、修了後、実際に後見人として活躍するための支援体制は。

答 当講座は2市6町の連携事業として開催し、令和5年度は11名が修了していますが、より質の高い成年後見制度となるよう、市独自で修了者全員にフォローアップ研修を行っています。業務に必要な知識の習得、スキルアップを支援することで、市民後見人が地域でしっかりと活動できるよう努めています。

問 要介護、要支援認定について、「以前よりも手続きに時間がかかる」と聞くと、現状は。

答 今年度当初、一部の医療機関で主治医意見書の提出に時間を要し、一次判定までに時間がかかった時期がありましたが、現在は平均的日数で行われています。



戸 来 伝
(柁の会)

小山田市政における 病院経営健全化への見解は 年々厳しさを増しているが、 職員一丸となって取り組む

問 16年間の小山田市政を振り返り、中央病院の経営健全化ができなかったことへの見解は。

答 経営改革検討委員会の提言による改善や経営形態の全部適用への移行、病院経営強化プランの策定等による増収対策など、様々な取組を行ってきました。その結果、令和6年12月時点の医師数は、平成21年の36人から16人増加した一方、全国的な人口減少や医療の担い手不足、物価上昇等も重なり、経営健全化への環境は年々厳しさを増しています。当院は、地域に暮らす人々の生活基盤の一つである医療を提

供する重要な拠点であり、今後も職員一丸となって、経営健全化への道のりを進んでいきます。

問 八戸・十和田・小坂間の地域高規格道路の整備が進まないことへの見解は。

答 平成28年に整備促進期成同盟会を設立し、毎年、国や県に対し要望活動を行った結果、令和3年に策定された青森県新広域道路交通計画において構想路線の一つに掲載され、一步前進したものと考えています。しかし、県内では構想路線の指定を受けても事業化されていない路線もあることなどから、引き続き、整備実現に向けて要望活動を行っていきます。

問 農業は当市の基幹産業と考えるが、農林水産業の持続的発展における成果は。

答 安全、安心で高品質な農畜産物の生産と農林水産業の持続的な発展の推進を目的に、主要野菜4品目の生産力向上や肉用牛の主産地づくり、とわだ産品のブランド力向上など、様々な取組を行った結果、農業産出額は東北地方では3年連続第6位と、高い水準にまで引き上げ、持続できていることが成果と捉えています。

本会議・各委員会の議員出欠状況

令和6年第3回定例会終了後から第4回定例会まで

※「○」は出席、「×」は欠席、「－」は所属外

日付	会議名	総務文教常任委員					観光建設常任委員					民生福祉常任委員					巖石橋	出席人数(人)						
		氣田 量子	堰野 端展雄	小山田 剛士	太田 正幸	齊藤 重美	豊川 泰市	戸来 年和	久慈 峰尚	笹淵 洋子	山田 洋子	小笠原 良子	江渡 信貴	工藤 正廣	小川 洋平	山端 博	中尾 利香		山端美 樹子	竹島 直樹	今泉 信明	中嶋 秀一	櫻田百 合子	義雄
11月 1日(金)	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	×	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
11月26日(火)		○	○	○	○	○	×	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
10月31日(木)	観光建設常任委員会	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
11月29日(金)		—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	×	—	—	—	—	—	—	—	—	6
12月 2日(月)	民生福祉常任委員会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	○	○	○	○	○	○	○	—	6
11月 8日(金)	議会運営委員会	—	○	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○	10
11月19日(火)		—	○	—	—	×	—	—	—	○	—	—	—	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○	9
11月25日(月)		—	○	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○	10
12月11日(水)		—	○	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○	10
12月13日(金)		—	○	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○	10
11月28日(木)	議会改革特別委員会	—	○	—	○	—	—	—	—	○	—	○	—	—	×	○	○	—	—	○	—	—	—	7
11月25日(月)	第4回定例会(開会)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21
12月 9日(月)	第4回定例会(一般質問①)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22
12月10日(火)	第4回定例会(一般質問②)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21
12月11日(水)	第4回定例会(一般質問③)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22
12月13日(金)	第4回定例会(閉会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22

市議会・市民との意見交換会について

令和6年度の『市議会・市民との意見交換会』は、常任委員会ごとにテーマを設けて開催しました。
令和6年11月2日(土)、総務文教常任委員会が市内中学校・高等学校の生徒会執行部役員4名と、「選挙について」をテーマに、意見交換を行いました。

①選挙に対するイメージと投票率が低い原因

- ◆いきなり選挙権があると言われても、実感がない。
- ◆誰かが投票するからと、人任せになっている。
- ◆学校では、選挙の仕組みの話はするが、1票の大切さなどの話はされていない。



議員と意見を交わす生徒達

②選挙に行くモチベーションを上げるためのアイデア

- ◆若い人の1票を重くし、2票分にするなどしてはどうか。
- ◆投票所まで行かなくても、職場や学校で投票できればよいのでは。
- ◆ネット投票やモバイル投票で、気軽に投票できればよい。

※いただいたご意見等の一覧は、市ホームページに掲載しています。



決 議

旧十和田市立新渡戸記念館所蔵史料の早期
所有権確定を求める決議を全会一致で可決し
ました。

請 願

継続審査

- (仮称) 惣辺奥瀬風力発電事業に関する請願
- 再生可能エネルギーと地域・自然との共生に係る県条例への保護地域・保全地域拡大の追加意見提出に関する請願

新たに受理し、継続審査となりました

- 加齢性難聴者の補聴器購入に対する独自の財政支援制度創設に関する請願

令和7年第1回定例会の開催予定

- | | |
|----------|----------|
| 2月25日(火) | 本会議 (開会) |
| 3月 7日(金) | } 一般質問 |
| 10日(月) | |
| 11日(火) | |
| 3月18日(火) | 本会議 (閉会) |

予算審査特別委員会

3月12日(水)、14日(金)

- ※会議の開始はいずれも午前10時からです。
- ※各常任委員会の開催予定日は未定です。
- ※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

編 集 後 記

編集委員長となり2年間、見やすい議会だよりを目指し、紙面を横書きに変更したり、本会議・常任委員会等の議員出欠状況の表示や、表紙に一般質問の見出しを掲載するなど、紙面構成に尽力してきました。

これからも、皆様に読んでもらえる紙面づくりに努めてまいります。

(文責 中 嶋 秀 一)

議会だより編集委員会

- | | | | |
|-----|---------|------|---------|
| 委員長 | 中 嶋 秀 一 | 副委員長 | 小山田 剛 士 |
| 委 員 | 山 端 美樹子 | 委 員 | 太 田 正 幸 |
| // | 竹 島 直 樹 | // | 中 尾 利 香 |
| // | 山 端 博 | // | 氣 田 量 子 |

